

2023年度 伊那市立長谷小学校 (みんなで創る学校)グランドデザイン

学校教育目標

「輝け 長谷っ子 ともに学び ともに育つ」

重点目標 「考動力-自分で考え 自分から取り組む」

長谷小学校の役割
ふるさと長谷を愛し、未来を創る児童の育成

～長谷での学びが土台となり、
心の拠り所になる学校づくり～ (みんなで創る学校)

児童が主役 児童会スローガン 「あいさつと笑顔あふれる みんなの輪」

2023年度 3つの重点活動

①「わかる」「できる」「かかわる」授業の創造

～ともに学び ともに育つ子へと導く学習～

○ 「学び合い」授業による基礎的基本的な学力
定着と「学び方」を学ぶ (質の高い授業)

- ・信州型 UD をもとにした授業改善(聴く力)
- ・効果的な少人数学習の工夫 (連学年授業等)
- ・学び合い高め合う授業公開
(一人一公開・合同授業・授業交換・ミニ研修等)
- ・ICT機器 (iPad) の効果的な利活用
- ・自主学習・自学ノート (家庭との連携)
- ・小中連携の推進 (義務教育9年間を見通す)
- ・各種検査 (新テスト、Q-U等) の分析と指導

適時 合同授業、交換授業、ミニ研修
通年 外部講師を迎えた単元構想・授業研究会

②自己肯定感・自己表現力・多様な価値観 の育成(児童会・学級活動・生活、総合) ～児童が主役～

○ 自分たちの学校を創る児童会

みんなのための委員会活動

○ 自分たちの学級を創る学級活動

クラス目標 みんなのための自分の役割

○ 自分たちの学びを創る生活・総合

自分たちの学びたいことを追究する生活・総合

5月1年生を迎える会 12月児童会フェス 3月6年生
を送る会 通年 清掃・給食・食育・生活目標

③地域とともに学ぶ

～長谷に学び、人とつながり、長谷の未来
を創る学習～

○ 長谷 (人、もの、こと) に学ぶ

- ・ふるさと学習：ふるさとの産業、文化、交流、観光
の調べ学習や交流・体験活動
地域探検、孝行猿、中尾歌舞伎、高齢者福
祉施設等との交流、防災
- ・食育 (田んぼ、畑)
- ・放課後長谷っ子講座
- ・地域行事への参加 (発表する場、響く歌声)

9月孝行猿集会 10月「ふるさとまつり」
8月「長谷っ子サマースクール」

土台として大事にしたいこと

○特別支援教育の充実

自然でさりげない日常的なかかわりを目指す
その子にあった居場所づくり (自分は自分でいい)
全職員でかかわり育てる

○心身ともに健康な子

自分らしくよく遊び よく学ぶ

○よりよい人間関係づくり

自分の居場所を持ち、安心した学校生活を送る

「仲間づくり」個を大切に作る学級、集団としての力が高まる学級

○読書が好きな子

本の世界に没頭

○想像力が豊かな子

○地域に開かれた学校(長谷学区地域支え合い)

目的に応じた保護者・地域との連携

学校教育活動への積極的なかかわりを求めていく
ゲストティーチャー、学校支援ボランティア

P T A 活動の充実、保護者と教職員の信頼関係構築

保護者評価アンケート、学校評議員会、学校運営協議会などから、学校への期待・要望を把握

強みを生かした教育活動のP D C A、現状把握と分析

創立時の思い

本校は伊那里小学校と美和小学校の統合校として昭和51年4月1日に創立した。
「学校所在地は山間地であっても、教育の及ぼすところが山間地であってはならない。職員は
一致団結し長谷の特色を活かす教育を確立するのが使命である。」
創立時のこの思いは、48年目を迎えた今も本校の教育の根底をなしている。

教師の研鑽・連携

- ・学び続ける教師
- ・ともに学び合う教師 (連学年授業等)
- ・子どもの目線に立って、子どもとともに歩む教師
- ・地域を知り、地域に学ぶ教師

長谷小の強み

- ・児童同士、職員同士、児童と職員の間につながり
- ・居心地の良さと安心感、個性が発揮できる環境
- ・特色ある伝統行事(孝行猿、中尾歌舞伎)
- ・学校と地域の良好な関係、ふるさとに支えられた学校